

2023年度事業報告書
(2023年1月1日～12月31日)

特定非営利活動法人 国連ウィメン日本協会

I 事業の成果

2023年は、2年目に入ったウクライナ侵攻やシリア、イエメンなどで長期化する紛争に加え、4月にはスーダンで、10月にはパレスチナ・ガザ地区で、武力衝突が激化するなど、世界各地で女性や子どもたちが犠牲になる人道危機が続きました。さらに、トルコの大規模な地震、気候変動の影響による深刻な干ばつや熱波、洪水、暴風雨など、自然災害も相次いで発生しました。武力攻撃や自然災害の犠牲者の多くも女性や子どもたちであったため、募金活動を実施しました。

UN Women との関係でいえば、承認協定 (RA) を締結しました。本部との関係がパートナーとして、連携がすすむことを願っています。UN Women 本部のコンサルタントの Sanjay と e は Zoom で毎月話し合っています。UN Women 日本事務所長は石川雅恵氏に代わり、福岡史子氏が着任されました。

国内では、理事会はズームで大体2か月に1回開催し、国際女性デー、国際少女デー、女性に対する暴力撤廃週間のイベントすべては、ボランティアの支援もしくは日本女性学習財団との共催によりオンラインで行いました。また、各チームの会合もオンラインで行っています。小中高生、大学生からの問い合わせにも、オンラインで対応しました。

メルマガの発行部数は、担当の方々のご努力で、臨時号も8回刊行しました。また、マスコミとの連携については、国際ガールズデー広報のため、朝日新聞のマリオンに掲載され、産経新聞からは取材があり紹介記事が載り、週刊金曜日は終了後10月20日号にジェンダー情報として掲載されました。

こうした従来の広報手段に加え、ファンドレイジングの専門家とコンサルタント契約を結び、2022年8月から始めたデジタル・ファンドレイジング等、新しい活動も方向性が見えてきました。HPの改正、Facebookに加えてXによる情報提供も開始しました。

「ジェンダー平等と女性のエンパワーメント」を目指す国連ウィメン日本協会としては、原点を大切にしつつ、同時に新しいテクノロジー等を予算の許す範囲内で取り入れつつ努力しています。その一環として、対面による個人寄付の導入などの検討のために専門家からのヒアリングを行いました。当該専門家には、2024年度から顧問への就任をお願いしています。それにしても、協会改革推進をすすめて下さっていた田中由美子理事が9月26日に急逝されたことは、協会にとっては大きな痛手です。

II 事業内容

1 特定非営利活動に係る事業

(1) 日本の社会に UN Women についての理解を深めるための広報活動事業

ア 情報発信広報啓発普及事業

- ・内容 ① UN Women、国連ウィメン日本協会、協力協定団体等の活動を広く社会に広報するために、ニューズレター「国連ウィメン日本協会」を制作、発行 23号(1月:3,000部) 24号(6月:3,000部)。
- ② ホームページ「国連ウィメン日本協会」の適時更新・改訂作業
Facebookによる情報発信は随時。
- ③ UN Women本部からのニュースリリース等を随時翻訳し、ホームページ、X、Facebookに掲載、その他資料等を随時翻訳した。
- ④ Facebookのフォロワー数は、2023年度330から2024年度514に増え、3イベントと9キャンペーンでFacebook広告を活用した。

- ⑤ メールマガジンを発行し募金・情報の発信に努めた。登録者 1,880 人 第 90 号 (1 月) から第 101 号 (12 月)、臨時号 (トルコ地震 2 月、国際女性デー 3 月、マンスリーエコバックキャンペーン開始 7 月、国際ガールズデー 8 月、ガザ緊急支援 10 月、暴力撤廃 11 月) 全 18 回

- ⑥ UN Women 及び国連ウィメン日本協会を各地で広報
 - ・国連ウィメン日本協会東京総会 理事長
日時：2 月 7 日 (火) 場所：市川記念会 参加者：21 名
 - ・創価大学経済学部 理事長
日時：11 月 20 日 (月) 場所：オンライン 参加者：4 名
 - ・湘南白百合学園中学校 理事長
日時：11 月 17 日 (金) 場所：オンライン 参加者：2 名
：12 月 1 日 (金) 場所：オンライン 参加者：1 名

- ・日時 通年
- ・場所 全国
- ・従事者人員 14 人
- ・受益対象者 一般市民 多数
- ・支出額 5,240,276 円

イ 情報提供・理解促進のための各種事業

- 内容 ①国連「国際女性デー」オンライン チャリティ イベント
「誰一人取り残さないジェンダー平等で、安全な社会を築いていくために」～ジョージア国からのジェンダー平等の現地報告～
登壇者：石川かおり氏
(UN Women ジョージア カントリーオフィス代表及び南コーカサス連絡員)
- ②国連「国際ガールズデー」オンライン チャリティ イベント
「タリバン支配下のアフガニスタン少女・女性を取り巻く課題
登壇者：中西久枝氏 (同志社大学グローバルスタディーズ研究科教授)
事例報告：K 氏 (アフガニスタンからの女性留学生)
- ③2023 年「女性に対する暴力撤廃国際デー」オンライン・セミナー
「アジア太平洋地域における UN Women および JICA の取り組み」
～女性や少女に対する暴力の根絶に向けて、わたしたちができることを一緒に考えてみませんか？～
登壇者：田中香苗氏
(UN Women アジア太平洋地域事務所 司法セクターリエイゾンオフィサー)
「UN Women のアジア太平洋地域における司法アクセス事業やジェンダーに基づく暴力分野の取り組み」
登壇者：宇佐美茉莉氏 (JICA 長期専門家)
「パキスタンにおける暴力被害当事者の女性と少女のエンパワーメントに向けて」
- ・日時 ①3 月 11 日 (土) 19 時-20 時 15 分②10 月 9 日 (月・祝) 10 時半-12 時
③12 月 3 日 (日) 10 時半-12 時
 - ・場所 ① ② ③ Zoom ウェビナー (オンライン開催)
 - ・従事者人員 ①②③各 13 人、
 - ・受益対象者 ①183 人 ②85 人 ③134 名
 - ・支出額 1,119,128 円

(2) 関係機関・団体に対する UN Women への協力促進活動事業

ア 国際的な協力・連携事業

- 内容 ①CSW 中に開催された UN Women 国内委員会会議に理事が参加
②UN Women 国内委員会会議に理事が参加。
- ・日時 ①3 月 6 日-17 日 ②10 月 16 日-18 日

- ・場所 ① 国連本部 ② UN Women イギリス
- ・従事者人員 ① 2名 ② 2名
- ・受益対象者 ①②世界の女性
- ・支出額 434,632円

イ UN Women 日本事務所との協力・連携事業

内容 UN Women 日本事務所との会合

- ・日時 11月9日石川所長の送別会、12月19日理事会に福岡所長が参加
- ・場所 Zoom (オンライン開催)
- ・従事者人員 5名
- ・受益対象者 世界の女性
- ・支出額 43,020円

ウ 外務省を始めとし各省庁・自治体・団体等との協力促進・連携事業

内容 ①外務省 総合外交政策局 女性参画推進室 古本室長とミーティング
②内閣府男女共同参画推進連携会議に団体推薦議員として理事が参加

- ・日時 ①9月7日 ②11月15日
- ・場所 ① 松本楼 ②オンライン
- ・従業者人数 ① 6人 ② 2人
- ・受益対象者 ①②一般市民
- ・支出額 合計 68,832円

(3) 募金活動による UN Women への支援活動事業

ア UN Women への拠出のための(募金・寄付による)ファンドレイジング事業

内容 UN Women 募金・寄付金

年間を通して、会員・企業・団体・個人・協力協定団体等による募金・寄付活動が活発に行われた。

2023年度 UN Women 募金・寄付金総額 22,654,983円

2023年度 UN Women への拠出金額 17,024,507円(116,381.25ドル)

拠出金の内訳

- ① ウクライナ支援 3,750,000円(25,660.48ドル)
- ② アフガニスタン支援 333,270円(2,326.17ドル)
- ③ トルコ地震支援 5,397,292円(37,557.01ドル)
- ④ ロヒンギャ難民キャンプ 375,000円(2,617.44ドル)
- ⑤ スーダン支援 225,000円(1,570.46ドル)
- ⑥ ジョージア 337,500円(2,355.69ドル)
- ⑦ ガザ危機支援 3,375,000円(22,628.20ドル)
- ⑧ 女性に対する暴力撤廃国連信託基金 1,575,000円(10,559.80ドル)
- ⑨ コア 1,656,445円(11,106.00ドル)

- ・日時 募金・寄付は通年
- ・場所 全国
- ・従事者人員 13人
- ・受益対象者 世界の女性
- ・支出額 17,623,815円

(4) UN Women 及び国連ウィメン日本協会の名称・ロゴ使用に関する業務事業

ア UN Women 及び国連ウィメン日本協会の名称・ロゴの管理事業

- ・内容 UN Women 及び国連ウィメン日本協会・協力協定団体の名称・ロゴの使用に関し、協力協定団体、企業等に周知を図り管理・監督に努めた。

協力協定団体については、ネットワーク会議を開催し、情報・意見交換等を行った。

- ・日時 2月25日(土) 15:00~16:30

- ・場所 横浜男女共同参画センター横浜
- ・従事者人員 13人
- ・受益対象者 一般市民 協力協定団体会員
- ・支出額 208,432円

2 その他の事業

- (1) その他募金活動に関連する収益事業
本年度は実施していません。